

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

遺伝子治療などの革新的なバイオ技術の開発を通じて、人々の健康に貢献する

連結営業利益
150億円ROE
8%以上試薬事業成長率
7%CO2排出削減
50%

② 中長期の経営戦略

1. 試薬事業成長

グローバル展開による年率7%成長を目指し、カスタム製品拡大と新製品開発を強化

3. 受託事業飛躍

技術開発・人材育成・設備投資を推進。遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟を2027年竣工予定

2. 機器事業拡大

PCR装置やシングルセル解析装置など新機種開発を加速し、専用試薬とのシステム化

4. 遺伝子医療事業

NY-ESO-1 siTCR遺伝子治療薬(TBI-1301)の上市目指し、複数の創薬基盤技術を高付加価値化

③ 対処すべき課題

① 経営環境の急変対応

- ・ 米国・欧州のインフレ長期化と政策金利高止まりへの対応
- ・ 中国での研究補助金削減によるアカデミア向け需要低迷対応
- ・ バイオ医薬品CDMO事業の競合企業参入への対応

② 事業別成長実現

- ・ 試薬事業のコロナ特需依存からの脱却と年率7%成長実現
- ・ 受託事業での多様なモダリティ対応と製造技術力強化
- ・ 遺伝子治療薬の上市準備推進と創薬基盤技術の価値最大化

③ 持続可能性との両立

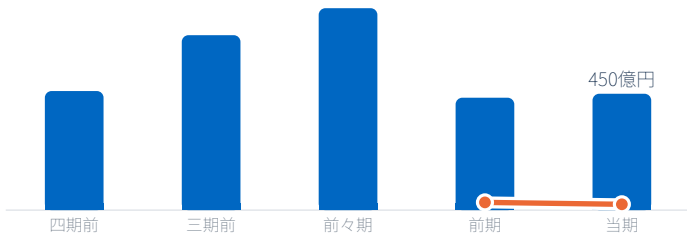
- ・ 2018年度比でCO2排出原単位50%削減を実現
- ・ バリューチェーン全体の人権リスク特定と低減
- ・ 社会的課題解決と事業成長の同時実現

面接で使えるポイント

- ・ 遺伝子治療などの革新的バイオ技術開発を軸に、試薬・機器・受託・遺伝子医療の4事業を展開する企業
- ・ 遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟の2027年竣工に向け、技術開発・人材育成・設備投資を強化中
- ・ 2025年度に連結営業利益150億円とROE8%以上を達成し、バイオテクノロジーのグローバルプラットフォーマーを目指す

証券コード 4974

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
450億円営業利益率
5.0%財務健康度
62点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 57.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
680万円

化学内 122位/204社

平均年齢
40.4歳

化学内 162位/204社

平均勤続
11.8年

化学内 166位/204社

女性管理職
23.8%

化学内 16位/173社

男性育休
75.0%

化学内 103位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 宝ホールディングス[2531]：当社子会社（タカラバイオ株式

